

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 108円(税込)
< 毎週火曜日発行 >



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

左藤章 内閣府副大臣

過去最多35の分野を担う

平成30年10月4日、左藤章 衆院議員は第四次安倍改造内閣において、内閣府副大臣に任命された。菅官房長官、宮腰大臣、平井大臣の下、34項目を担っており、5月24日付で新たにアイヌ振興も担当することとなった。左藤章 内閣府副大臣は、安倍内閣の歴代内閣府副大臣において過去最多の35項目を担当している。

左藤章内閣府副大臣の担務一覧

- ＜内閣府＞
 - 栄典
 - 国際平和協力業務
 - 官民人材交流及び再就職等監視に関する事務
 - 迎賓館の事務
 - 拉致被害者等支援
 - 沖縄及び北方対策
 - 消費者及び食品安全
 - 少子化対策
 - 海洋政策
 - 共生社会政策
 - 子どもの貧困対策の推進
 - 成年被後見人等の権利制限の見直し
 - 内閣府本府の行う休眠預金等に係る資金の活用
 - 市民活動の促進
 - 公正取引委員会に関する事務
 - 個人情報保護委員会に関する事務
 - 科学技術・イノベーション政策
 - 知的財産戦略
 - クールジャパン戦略
 - 宇宙政策
 - 原子力政策(原子力委員会及び原子力発電施設等立地地域の振興)
 - 遺棄化学兵器処理
 - 医療情報基盤に関する事務
 - アイヌ施策の推進
- ＜内閣官房＞
 - 沖縄基地負担軽減
 - 拉致問題
 - 一億総活躍
 - 行政改革
 - 領土問題
 - 総合的な子ども・子育て支援を実施するための行政組織の在り方の検討
 - 内閣官房・内閣府の見直し
 - 内閣情報調査室の事務のうち特定秘密の保護に関する制度に関する事務
 - ギャンブル等依存症対策の推進
 - IT政策
 - 健康・医療戦略に関する事務

拉致問題

2月19日、安倍晋三総理と共に左藤章 拉致問題担当副大臣は、拉致被害者のご家族と面談し、「家族会・救う会 今後の運動方針」を受け取った。

そして、5月2日から5日にかけて、左藤副大臣は、拉致被害者家族会の横田拓也さん、飯塚耕一郎さんをはじめ、救う会、超党派の拉致議連の先生方と共に、米国・ワシントンを訪れ、ハドソン研究所・日本政府・北朝鮮人権委員会共催の拉致問題に関するセミナーに参加した。

拉致問題について議論が行われ、各国のメディアによって世界に広く発信された。また、米・国務省特別代表らに、ご家族の切実な思いを伝え、拉致被害者の早期帰国の実現に向けたより一層の連携・協力を求めた。グローバルな課題としての拉致問題の解決に向け、政府関係者や議会関係者、シンクタンク、NGOといった様々なレベルで日米連携が深まった。



竹島問題

昨年11月21日に開催された「竹島問題の早期解決を求める東京集会」に、左藤章 領土問題担当副大臣は出席した。

竹島は、歴史的事実に照らしても、国際法上も、明らかにわが国固有の領土である。国民の生命・財産、わが国の領土・領海・領空を断固として守る決意の下、国際法にのっとり、竹島問題を冷静かつ平和的に解決するため、わが党も全力で取り組んでいく。



平成から令和へ 退位礼正殿、即位後朝見の儀 左藤章 内閣府副大臣参列

4月30日、天皇陛下が退位、5月1日午前0時、皇太子さまが第一二六代天皇に即位され、元号は「平成」から「令和」に変わった。

新元号の「令和」は、万葉集に典拠し、人々が美しく心寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている。日本の歴史と文化伝承、四季折々の美しい自然は、世界に誇るべき国民すべての大切な財産だ。

また、天皇陛下退位礼正殿の儀そして即位後朝見の儀に参列した左藤章 内閣府副大臣は、「平成の世に、常に国民に寄り添ってくださった天皇陛下、皇后陛下の御厚意に対し感謝の念に堪えませぬ陛下のお言葉通り、令和が平和な時代となりますよう政権与党の一員としても微力ながらも力いっぱい務めてまいります」と思いを語った。

幼児教育の無償化

本年10月1日より実施予定である幼児教育・保育無償化のための「改正子ども・子育て支援法」が、5月10日参院本会議で賛成多数で可決、成立した。

幼稚園・保育所・認定こども園等の無償化(注①※)の対象は、全

ての3〜5歳児、住民税非課税世帯の0〜2歳児となる。

現在、3〜5歳児の幼児教育無償化を実施している大阪市(注②※)においても、今まで対象外であった預かり保育料も含め無償化(月額上限3万7千円)となり、新たに住民税非課税世帯の0〜2歳児の無償化となる。

左藤章 少子化対策担当副大臣は、「幼児教育無償化の実施に当たり、保育の質の確保など、しっかりと取り組むとともに、実務を担う地方自治体と国がよく連携して進めていくことが大変重要だと考えています。引き続き、地方自治体の皆様のご意見を伺いながら、準備を進めてまいります」と発言した。

(注①) ※新制度の対象とならない独自で保育料を決めている幼稚園については、月額上限2万5700円(国立大学付属幼稚園0.87万円、国立特別支援学校幼稚園0.04万円)まで無償化。通園送迎費、食料費、行事費など保護者から実費で徴収している費用は無償化の対象外。
(注②) ※現在の大阪市で行われている保育所等における幼児教育の無償化(認可施設3〜5歳児対象)では、幼児教育費相当分として、保育料の約50%以上軽減による無償化(保育料全額無償化ではない)を実施。

高等教育の無償化

5月10日、通常国会にて成立した高等教育の就学支援新制度は、長年、左藤章 衆院議員が、党教育再生推進本部副本部長として取り組んだ制度で、令和2年4月から実施予定である。経済的な理由で進学できないことがないよう所得の低い家庭の意欲ある子どもたちに対し、授業料や入学金を国立大学は無料(注)に、私立大学は大幅減額にし、返済不要の給付型奨学金の支給を大幅に拡充する。

(注) ※国立大学は授業料約54万円、入学金約28万円(ほぼ全額無料)。※私立大学は授業料約70万円、入学金約26万円(本人負担なし)



2025年に開催される国際万国博覧会の開催地が日本に決定した。安倍総理をはじめ、世耕弘成経産大臣などの関係閣僚のほか、経済団体、大阪府・市を中心とする誘致委員会そして二階俊博幹事長が本部長を務める党万博誘致推進本部などの与党国会議員で、スクラムを組んでの奮闘が報われた瞬間である。〈昨年11月24日〉

左藤章衆院議員も、党万博誘致推進本部事務局長代行及び党大阪府連会長として、各国の情勢や日本との繋がりを配慮した選挙戦を繰り広げるため、調整や各大使館へのお誘いなど懸命に誘致活動に尽力してきた。

引き続き、関西・大阪の発展のため、万博成功に向けて精力的に取り組んでいる。

2025万博開催地が関西・大阪に決定

かねてより地域から要望があったJR大和路線「東部市場前」駅にエレベーターと多機能トイレを設置するため、左藤章氏は衆院議員復帰後すぐに取り組み、今年3月に設置することができた。高齢の方や足の不自由な方、障がいがある方たちも安心して利用できる。

また、党大阪市議団が要望していた今里ライナーの停留所は、東口改札のすぐ前に設置され乗り換えの利便性が高まった。

東部市場前駅にエレベーター2基設置

左藤衆院議員は「生野・東住吉がより発展するためにも、地下鉄今里筋線の延長は絶対に必要だ」と語った。



ダブル・統一地方選挙、衆院大阪12区補欠選挙の結果を受け、敗因分析の取りまとめ

去る3月8日、大阪府知事・大阪市長が突然辞職し、知事・市長の立場をクロスして出馬したダブル選挙には、わが党は大阪府知事候補に小西禎一元副知事を、大阪市長候補に柳本顕元大阪市会議員を推薦し全力で戦いに挑んだが、残念な結果となった。また、同時に行われた統一地方選挙において特に大阪府議会では、わが党の議席を大幅に失った。その後行われた衆院大阪12区補欠選挙では、政権与党候補として北川晋平氏が出馬し激戦を繰り広げたが、惜しくも敗れた。

この結果を受け、左藤章党大阪府連会長は、会長としての責任を果たすため、敗因の分析を取りまとめるとともに会長を辞任。5月11日、とかしきなおみ衆院議員が新会長に就任した。

写真で見る左藤章さんの活動報告



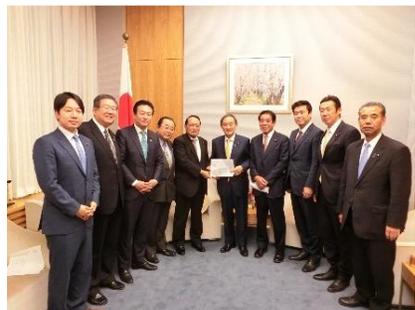
第4次安倍改造内閣 内閣府副大臣就任 (平成30年10月)



衆院内閣委員会にて内閣府副大臣としての所信を表明 (平成30年11月)



行政改革担当副大臣として第33回行政改革推進会議に出席 (平成30年12月)



党公団住宅入居者を守る議員連盟にて菅義偉官房長官へ申入れ (平成30年12月)



多重債務問題及び消費者向け金融等に関する懇談会にて消費者担当副大臣として挨拶 (平成30年12月)



明治150年記念「世界青年の船」事業外国参加青年歓迎会にて共生社会政策を担当する副大臣として挨拶 (平成31年1月)



消費者担当副大臣として米国のグレッグ・アイバー農務省農務次官と意見交換 (平成31年2月)



クールジャパン戦略担当副大臣として第3回クールジャパン・マッチングフォーラムを主催し挨拶 (平成31年2月)



大阪府知事・市長・統一地方選挙 (平成31年3月)



国際平和協力業務担当副大臣としてMFOに司令部要員として派遣される隊員の出発式に出席 (平成31年4月)

自民党 党員 募集中!

自民党入党資格

- ・わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- ・満18歳以上で日本国籍を有する方
- ・他の政党の党籍を持たない方

党費

- ・一般党員 年額4,000円
- ・家族党員 年額2,000円 (家族党員は一般党員と同一世帯の方に限ります)

党員と合わせて左藤章後援会会員も募集しています。

入党、後援会入会をご希望の方は、

自民党大阪府第二選挙区支部 (左藤章事務所内)

☎06-6621-0045 ✉info@akira310.com までお問合せください。



「#自民党2019」プロジェクトスタート!

新しい時代をリードする若い世代に向けて、様々な形でメッセージを発信していきます。詳しくはこちらから



左藤章衆院議員の日々の活動をfacebook、twitterにて配信中! いいね! フォローよろしく!



左藤章 検索
www.akira310.com

